

めざします。企業の繁栄と社会への貢献

"Hojin"

ほじん

夏

2026

No.733

私の経営哲学—第49回—

太田法人会 木内酒造株式会社

木内 敏之

特集

全法連 会長×青連協会長×女連協会長
トップ鼎談

けんたの全国法人会めぐり

第19回 松任法人会

老舗の肖像

株式会社 山内本店
ナイカイ塩業 株式会社



公益財団法人 全国法人会総連合



法人会の地震対策プラン 「^{しゅ}護^ご震^{しん}」誕生!



日本では多くの地震が発生し、今後もいくつもの巨大地震の発生が予測されています!



先行きが不透明で、未来の予測が困難な時代。
企業経営には災害に見舞われても、変わらずに事業を継続させることのできる、しなやかな強さが求められています。

そのような中、
法人会の
地震対策プラン
^{しゅ}護^ご震^{しん}「**守護震**」が誕生!



経営者の皆さまに寄り添い、さまざまなリスクに対する補償を提供してきたAIG損保から、事業継続のための新しい補償プランが誕生します!



新プラン「^{しゅ}護^ご震^{しん}」では、事業用建物や設備等の地震保険に単独で加入できます!

また、従来の「^じ地^き休^{ゅう}力^{りょく}」で、従業員の休業手当を含む休業補償に単独で加入できます!

建物の復旧資金も
従業員の休業手当も
準備できるのか!

^{しゅ}護^ご震^{しん}と「^じ地^き休^{ゅう}力^{りょく}」、
早速検討しましょう!

法人会の福利厚生制度で、災害に見舞われても「事業を継続」し、「従業員の雇用を守る」ための対策をご検討ください。

●この広告は保険商品の概要をご説明したものです。詳細につきましては、パンフレットなどをご覧ください。取扱代理店・扱者または弊社にお問い合わせください。また、ご契約に際しては、保険商品についての重要な情報を記載した重要事項説明書(「契約概要」「注意喚起情報」など)を、事前に必ずご覧ください。

弊社よりお電話でご案内させていただく場合があります。
ご興味がある際は、ご希望の日時をお気軽にお伝えください。

お問い合わせ先

TEL 03-6848-8500
午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

AIG

AIG 損保

AIG損害保険株式会社

<https://www.aig.co.jp/sonpo>

YELL エール

法人会は税のオピニオンリーダーとして
企業の発展を支援し 地域の振興に寄与し
国と社会の繁栄に貢献する
経営者の団体である



ようこそ 「とこ常世よの国いばらき」へ

一般社団法人茨城県法人会連合会 会長 笹島 律夫 SASAJIMA Ritsuo

第

42回法人会全国大会茨城大会が、10月8日に水戸市民会館グロービスホールで開催されます。

茨城県は奈良時代に編纂された『常陸国風土記』で、肥沃な土地と海山の産物に恵まれていて人々は豊かに暮らしていると紹介されており、「常世の国（理想郷）とはこの地のことではないだろうか」とも記されています。

現在でも、生産量全国1位を誇るメロン、栗、レンコン、ピーマン、干し芋をはじめとした豊富な農産品があり、季節ごとに多彩な味覚が楽しめます。また、海の幸は新鮮そのもので、特に冬のあんこう鍋は名物料理です。その他にも旬の魚介類・食材を活かしたグルメが数多くあります。

茨城県には四季折々の美しさと訪れる人を温かく迎える土地の力もあります。まず訪れたいのは日本三名園のひとつである水戸の偕楽園。早春には梅の香りが街を包み、「水戸の梅まつり」では約100品種の梅が咲き誇り、全国から多くの人が訪れます。少し足を延ばせば、延喜

式に伊勢神宮と並んで登場する鹿島神宮をはじめ、大洗磯前神社、御岩神社、筑波山神社など、古代から信仰されてきた全国有数のパワースポットが多くあります。

さらに日本百名山のひとつで紫峰とも呼ばれる筑波山は、登山やケーブルカーで気軽に山の魅力が楽しめ、山頂からの眺望は関東平野を見渡す絶景です。

そして近年注目を集めているアクティビティーが霞ヶ浦のサイクリングです。湖畔を1周するサイクリングロードは国内2番目の広さを誇り、初心者から上級者まで幅広く楽しめます。湖面を渡る爽快な風を感じながら走る開放感は、茨城の新たな魅力のひとつです。

このように、茨城県は自然、歴史、食文化がバランスよく揃った「心地よい旅先」であり、お越しいただく方々の心と体を整えてくれることでしょう。

大会に参加される皆さまが楽しく充実した時間を過ごせるよう、万全の準備を整え、心よりご来県をお待ちしております。

私の経営哲学

MY MANAGEMENT PHILOSOPHY

第49回

Krachi
Toshiyuki



常陸の風土から 世界基準の価値を生む

木内 敏之

木内酒造株式会社
代表取締役社長

President

創業は1823(文政6)年。現在の茨城県那珂市鴻巣で庄屋・木内儀兵衛が酒造りを始め、その酒はやがて今に続く銘柄「菊盛」となる。1996年、祖業である日本酒にとどまらず「常陸野ネストビール」の製造を開始、2016年にはウイスキー事業にも参入し

2022年に「日の丸ウイスキー」を世に送り出す。こうした事業展開の背景には時代の変化を見据えた危機感と、地域の農業と歴史に立脚し、循環の中から価値を生み出すという思想がある。地方企業が世界と対峙する経営哲学を木内敏之氏に伺った。

Q 企業として大切にされていることを教えてください。

A 木内酒造は2つの事業を軸にしていますが、一つはものを作る、お酒を造る事業。もう一つは、お客さまに楽しんでもらう、飲食の事業です。ただ、どちらにもその根底にあるのは「常陸野の美味しいものを作り、売る」ということです。できる限り国産、特に地元で採れた素材を使う、そして歴史に沿ったことをやるというのがコンセプト。言い換えると、地元の農業とそこにある長い歴史を大事にすること。この2つを大切にしたいものづくりを行うことです。

歴史をひも解くと、茨城県はもともと畑作が盛んで、かつては「麦どころ」だったんです。実際、麦が自由化される昭和48年ごろまで日本最大のビール麦の生産地でした。当社は日本酒の酒蔵から始まりましたが、ビール造りに踏み出したのもそれと無縁ではありません。「麦どころ」という地域のアイデンティティーをビールやウイスキーの製造という形で現代に還元し、地域の農業を支えていく。木内酒造の守るべき一貫したビジョンであり、むしろ自然な流れだと考えています。

Q ビール事業を始められたきっかけは何だったのですか？

A 一言で言えば、清酒事業への危機感です。今から約40年前、日

本は地酒ブームに沸き、清酒業界の売り上げも今の4倍ほどありました。清酒メーカーは国に保護された産業で、造れば儲かる、いわば恵まれた環境にあったんです。

でも、あることがきっかけで将来に對して危機感を抱くようになりました。一つがスコットランドに旅をした時のこと。40年前、スコットランドでは経済が壊滅してウイスキー工場が次々と倒産していました。そして当時絶好調だった日本マネーが倒産した工場を買収して占めていきました。それを見て、日本酒も将来、同じようなことが



1996年に誕生した常陸野ネストビールは世界的にも高い評価を得ている

起きかねないと思ったんです。

もう一つは、帰国後に当時大分県知事で「一村一品運動」を展開されていた平松守彦氏にお会いしたときのこと。地酒ブーム真っ只中でしたが「清酒は間もなく衰退が始まる」という話とその理由を聞き、確かにその通りだと納得したのです。

Q その理由というのはどういうことでしたか？

A 一村一品運動は、世界に通用するその地域ならではの特産品を育て上げようというのですが、成功するための3つの原則があるんです。

一つはローカルにしてグローバルであることで、地元の素材や文化に根差しながら世界に通用するクオリティーを目指すこと。次に自主自立。行政などに主導されるのではなく、自分たちで考え、知恵を絞ること。そして人を育てる。単にモノを作るのではなく、人材を育てること。そこで改めて調べてみると、日本酒はすべて当てはまっていなかったのです。事実、あれから40年経って清酒メーカーの数は1/3になり、売上は1/4になっている。しかも今でもその間違いにほぼ気づいていません。木内酒造は当時社員がまだ7、8人の酒造でしたが、「このままだともう伸びることはない」「清酒以外のビジネスを作るしかない」というのが根本にある発想でした。

Q 1995年ごろの地ビールブーム後、多くが姿を消していき中、御社は評価を確立していききました。

A 多くの地ビール事業が、行政主導の地域活性化が目的で、国からの補助金を活用していましたが、結論から言うと、高くてあまりおいしくなかった。多くのビールが横並びでドイツ風のビールをまねて作っていたんです。一方、「常陸野ネストビール」の醸造第1号は英国産の麦芽とホップを原料としたアンバーエールビールですが、根底にあるのは先に述べたようなものづくりの姿勢です。海外のビールの模倣ではなく、常陸野の風土にふさわしい、自分たちにしか醸せないものを目指したのです。

Q 2016年にはウイスキー事業にも参入されましたね。

A 日本のビール用麦芽の多くが輸入に依存する中で、昭和の半ばに姿を消してしまった日本古来のビール麦「金子ゴールデン」を2007年に地元農家の方々とともに復活させました。その麦を使い、日本の原料だけで造るジャパニーズエールを誕生させたのですが、ビール醸造には向かない規格外の麦が40%ほど生じてしまったんです。これを廃棄せず、なにかに転換できないかと考えたときに、ウイスキーという選択肢にたどり着いたんです。こうして新たな挑戦がスタートし

ました。ですから、当社のウイスキー事業はスコットランド風ではなく、「日本らしさ」が大前提なのです。

Q ものづくりには人づくりが大切という話がありましたが、そのためにされていることは何ですか？

A 日本酒業界では杜氏の勘と経験から酒造りをするという伝統がありますが、「この人しかできない」という状態は、持続的な事業にならないと考えています。私たちが考える「人がつくる」というのは、企業として生産技術をきちんと確立することなのです。うちではビールとウイスキーは製



鑑評会用の大吟醸を3年熟成した「月下香」。伊勢志摩サミットでも供された

造工程を徹底してデータ化・マニュアル化しています。味づくりも含めて数値で管理し、誰が担当しても同じ品質を実現できる体制を整えています。ビール工場では、生産のほぼすべてを事務所からコントロールできる仕組みです。

Q 新しい事業が育つ中で、逆に課題となったものはありますか？

A もともとの清酒事業です。今、それを本気で変えていくことが私のミッションです。まず昨年、酒蔵の中に地域食材を使った和食と洋食両方を楽しめるレストランを作りました。昔の清酒というのは、地域の気候、

風土、食などにつながったローカルテイラーがありました。また、クラフトビール、ウイスキー、ワインにしても、いずれも大量生産の時代から一歩前に立ち返ろうという動きがあります。ところが清酒だけが1960年代以降の新規の技術や食事に合わない大吟醸をいまだによしとしている。私たちはそれを100年前に戻したい。今年の秋くらいには清酒を全部モデルチェンジする予定です。創業の原点に戻ること——それが私の最後の大きな仕事かなと思っています。

Q 50年後、木内酒造はどうなっていると思いますか？

A 当社には製造と食という2つの軸があるとお話ししましたが、

それがすべて地域の歴史と農業にしっかりつながった会社であり続けていると思います。その象徴的な取り組みが、2年後に開業予定の道の駅です。行政主導で30年以上議論されながら実現しなかった事業ですが、当社が手掛けることになりました。コンセプトから建築家、レストランの選定まで一貫して行い、単なる場所貸しではなく、すべて自社で運営します。これは完全な地域貢献事業にほかなりません。設計は建築家の藤森照信先生にお願いしていて、関東では初となる大規模プロジェクトなので、建築業界でも注目されています。

Q では、経営において一番大切なことは何だとお考えですか？

A 繰り返しになりますが、地域に根差すということです。地域の農業や歴史とつながる必然性からものを作る。たとえば、清酒だったら酒粕から漬物ができたり、米糠から焼酎ができたり、昔は日本の限られた国土と食の資源の中で全部循環していました。それが外国からの原料に頼るようになって循環が全部崩れたのが今の社会。それを戻す、ということが木内酒造がやっているすべての事業のサイクルなんです。食料自給率も自ずと上がるし、原価も削減でき、品質も上がる。それが地域にある酒造業の本来の姿であり、使命だと思います。

COMPANY PROFILE

木内酒造株式会社

創業	1823年(文政6年)
代表取締役社長	木内 敏之
所在地	茨城県那珂市鴻巣1257
TEL	029-212-5111
資本金	5,000万円
業種	酒類製造業・酒類卸売業
従業員数	240名(グループ会社含む)
生産拠点	鴻巣の蔵／額田醸造所 八郷蒸溜所／石岡の蔵



■ 新たなジャパニーズウイスキーを目指す「八郷蒸溜所」 ■ 水戸や東京・丸の内など7か所で開催する「常陸野ブルーイング」。常陸野ネストビールや茨城県産銘柄豚の自家製シャルキュトリーを中心としたフードが楽しめる ■ 日本酒の製造拠点・鴻巣の蔵。一角にはレストラン「母屋」



代表取締役社長
木内 敏之

1963年茨城県那珂市生まれ。県立水戸第一高等学校、上智大学理学部卒。1986年、木内酒造株式会社入社。2020年、代表取締役社長に就任。サッカーがライフワークで、日本サッカー協会評議員、茨城県サッカー協会副会長を務める。

<https://kiuchibrewery.co.jp/>

税に関する 絵はがきコンクール

全国の女性部会が租税教育活動の中核として取り組む、小学生を対象とした「税に関する絵はがきコンクール」。全法連は、各単位会で選出された優秀作品のうち、局連代表の12作品（東京局は2作品、沖縄事務所は1作品）を、令和7年度全法連女連協会会長賞として表彰した。

4月に開催された全国女性フォーラム埼玉大会では、受賞した12作品をスクリーンで紹介、会場内には全国の単位会代表作品も展示され、来賓や参加者らの興味を引いていた。

平成13年度に広島県の福山法人会で始まった「税に関する絵はがきコンクール」は、平成21年度に全法連女連協が推進する事業となり、平成24年度から国税庁の後援を得たことで、全国へと一気に波及していった。令和7年度は全440単位会で実施され、税務署長賞も全単位会で設けられた。応募された絵はがきは25万5755作品、応募学校数は7853校と、それぞれ過去最高となった。

全法連女連協では、次代を担う子どもたちが税の役割について考えて理解を深めていく有意義な取り組みであるとして、より一層の充実を図っていくこととしている。

令和7年度 全法連女連協会会長賞



関東信越局

【東毛法人会】
館林市立第八小学校 6年生
原 叶衣さん



東京局

【千葉東法人会】
千葉市立高洲小学校 6年生
高橋 希羽さん



東京局

【神田法人会】
千代田区立お茶の水小学校 6年生
榛澤 結香さん



名古屋局

【岳南法人会】
富士市立富士第一小学校 6年生
遠藤 健斗さん



仙台局

【酒田法人会】
酒田市立南平小学校 6年生
石黒 葵子さん



札幌局

【帯広地方法人会】
帯広市立柏小学校 6年生
原 翠優さん



高松局

【鳴門法人会】
北島町立北島北小学校 6年生
松田 結月さん



広島局

【倉吉法人会】
北栄町立北条小学校 6年生
小矢野 美心さん



金沢局

【高岡法人会】
高岡市平下関小学校 6年生
内田 有彩さん



沖縄

【那覇法人会】
那覇市立高良小学校 6年生
長濱 祉奈さん



熊本局

【大分法人会】
大分市立明野東小学校 6年生
後藤 園さん



福岡局

【武雄法人会】
武雄市立山内東小学校 6年生
永尾 海羽さん

法人会の会員増強と魅力向上 その取り組みと課題

会員数の減少が続く中、法人会に求められる役割も変化している。発信力の基盤となる会員増強と、その前提となる魅力の再構築は避けて通れない課題だ。一方、社会環境や企業ニーズの変化により従来の活動では価値が伝わりにくい現実もある。親会・青年部会・女性部会それぞれの視点から、法人会の価値をどう高め、会員増強にどうつなげていくのか、その方向性を探る。

会員減少に問われる 法人会の存在意義

司会 皆さん、就任から約1年が経ちました。今回の鼎談では、法人会の大きなテーマである「会員増強」を中心に伺いたいと思います。平成7年のピーク時から会員数が大きく減少している現状を踏まえ、これをどう受け止め、これからどうしていくのか。まず、斎藤会長からお願いします。

斎藤 会員数はピーク時の132万社から、令和7年12月末では68万5千社まで減っています。税制提言活動をはじめ、さまざまな場で発言していくうえで思うのは、やはり「数は力」ということです。会員増強は法人会にとって大きな課題だと考えています。

もちろん、何もしていないわけではありません。組織委員会はもちろん、青年部会、女性部会にもしっかり取り組んでいただいています。日本全体として企業数そのものが減っているといった現実もあります。ただ、可能性はあると思っています。私が関わっている別の団体では、コロナ以降、情報提供や会員同士の連携を求めて会員が増えています。法人会も、会員企業に有益な情報を届ける場



全法連会長・斎藤保氏（東京・江東西法人会）

だということを、もっと知ってもらう必要があります。特に、ベンチャーやスタートアップなどの若手、あるいは女性経営者の方々により多く加入していただければ、法人会はさらに活性化していくのではないのでしょうか。

司会 青年部会は租税教育や健康経営などを中心に活動されていますが、それをどう会員増強につなげていくのか。大貫会長、お聞かせください。

大貫 青年部会では、租税教育、健康経営、そして部会員増強を大きな柱として活動しています。会員増強という点では、「法人会の魅

力を、それぞれの部会員がまだ十分に伝えきれていないのではないかと感じています。

租税教育も健康経営も、単なる事業ではなく、社会貢献そのものです。自分たちの活動が社会のためになっているという実感を持ち、それを自分の言葉で説明できるようになることが、入会の勧めにもつながっていくのではないかと思います。

たとえば租税教育は、全国440の単位会で何らかの形で行われており、年間30万人以上の子どもたちが参加しています。これほど大きな活動はなかなかありませんし、法人会の大きな魅力の一つだと思います。

健康経営についても、まだ発展途上ではありますが、企業の生産性向上やイメージアップ、離職率の低下など、少しずつ成果が見え始めています。社会保障費の抑制にもつながりうる活動であり、法人会の理念にも合致した取り組みだと考えています。

司会 村上会長、女性部会では絵はがきコンクールや食品ロス削減に取り組まれていますね。

村上 絵はがきコンクールは私が所属している福山法人会が発祥で、始まった頃は小学校を一校一校

回って、本当に大変でした。私はその頃女性部会に入ったばかりで、よくわからないまま先輩と一緒に回っていました。あれから25年経っていて、いま全国に広がっているのを見ると、素晴らしい活動だったのだと実感しています。

食品ロス削減は4年ほど前から本格的に始まりました。最初はまず「食品ロスとは何か」を知ってもらう活動から始めて、ようやく少しずつ方向性が見えてきたかなというところでした。

その食品ロスに関していま力を入れているのが、懇親会の最初の15分と最後の10分は席について食



青連協会長・大島高輝氏（東京・立川法人会）

事を食べ切る、という「一期一会（15・10）運動」です。私自身、家業が旅館ですので、宴席での食べ残しの多さは日々実感しています。特に男性ばかりの集まりでは、乾杯後すぐに移動してしまい、ほとんど召し上がらないまま終わってしまうことがあるんです。まずはしっかりと食べていただき、そのあと懇親を深める、という流れがいいのかなと思っています。

司会 たしかに、女性はしっかりと食べて、あまり残さない印象があります。

村上 そうなんです。女性のお客さまは本当にきれいに召し上がります。ですから、男性の会合で「食事を食べ切ろう」と言っていただけけるのは本当にありがたいです。

会員増強は、特別効果的な策があるわけではありませんが、女性はコミュニケーション力がありますから、コツコツと取り組み続けることが大切なのかなと思っています。福山法人会は会員数が増加傾向にあるので、それほど危機感を持っていませんでしたが、全国的な減少数を聞いて、これは大きな課題だと感じました。

最近は経営者の奥さまだけでなく、経営者本人である女性部会員も増えています。そうした方々に

も、抵抗感なく加入していただけるようにしないといけない。女性経営者向けの研修会を増やすなど、時代に合わせて活動内容も変えていく必要があると思っています。

活動の価値をどう伝え入会につなげるか

司会 今のお二人のお話を受けて、斎藤会長はいかがでしょう。

斎藤 これから加入していただけるような企業が、何に関心を持っているのか、まだ十分につかみ切れていないんですね。ビジネスシーンでは「ペイン」ともいいますが、相手の悩みや課題が見えていない。そこを把握するうえでも、DXは非常に重要だと思っています。

実は、会員の企業情報は各単位会しか持つておらず、全法連には会員数の報告はあっても、どんな業種が多いのか、どのくらいの規模の企業が中心なのかといった情報までは上がってきていないのだそうなんです。そこが把握できれば、業種や規模に応じたサービスや提言につなげることもできますし、対外的に法人会の実像を、より説得力を持って伝えていくこともできるはずなんです。

もちろん、情報を扱う以上、セキュリティへの不安もあります



女連協会長・村上康恵氏（広島・福山法人会）

から、安心して情報を提供していただける仕組みが前提になります。そのうえで、会員のニーズを分析し、必要な情報やサービスとして返していく。そうした流れをつくっていくことが、今後はより重要になると思っています。

司会 DXの推進には、恐らく事務局の力も必要ですね。

斎藤 基本的にはそうなると思います。会員企業の情報をただ吸い上げるだけでなく、「集めて分析し、それを出すことでこういうメリットがある」ときちんと理解していただくことが大切です。

司会 なるほど。大貫会長の立川

法人会では、DXや会の魅力づくりという点で、どのような取り組みをされていますか。

大貫 最近はDXを意識した勉強会を開くようになっていますが、それをまだ会員増強に結びつけるところまでは至っていません。

一方で、数年前に会費を上げた時に退会者が多く出ました。ただ、その理由は単に会費ではなく、もととあまり参加していなかった、という方が多かったです。そこで、いま改めて「魅力ある会にするにはどうしたらいいか」を考えるプロジェクトチームを作り、議論を重ねています。



(株) IHIの特別顧問で、2023年よりNEDOの理事長を務める斎藤会長

立川法人会には25の支部がありますが、それぞれに特色があり、活動内容も異なります。そこで、単体会として共通した活動を行い、支部活動も活性化していくとしていきます。青年部会も、卒業してから親会や支部に関わるのではなく、青年部会で活動している時から「自分は支部会員でもある」という意識を持ってもらうようにしています。青年部会は法人会の実働部隊でもありますから、どう動くかが重要だと思っています。

司会 若い方と、長く在籍して法人会の魅力をよく知る方が、うまくつながっていくのが理想的ですね。

大貫 そうですね。私自身、20年以上青年部会で活動していますが、青年部会出身の先輩方が親会の役員として活躍されるようになり、全体の連携がよりスムーズになったと感じています。

村上 長く続けないとわからないことってたくさんあると思います。入会した当初は先輩方の迫力というかバイタリティーに驚き、正直ついていけないか不安にもなりました(笑)。でも自分がその年齢になってみると、若い人からは自分もそう見えるのかなと思ったりもします。



東法連青連協会会長を経て青連協会会長に就任した大貫会長。大貫商事(株)代表取締役

ただ、いまは若い方が少なく、なかなか代替わりしていかない。長くいるとわかる楽しさもたくさんあるのですが、その前に離れてしまふ、退会してしまふ方もいるかもしれません。

それに、女性部会は昼間の活動が多いので、参加しにくい方もいらっしゃる。活性化させるには、活動時間も考えていかなければいけないのだらうと思います。

新たな接点づくりが 会員増強の鍵

司会 斎藤会長は、IHIにおいて事業の大きな転換を牽引された

というご経験をお持ちですが、法人会にも同様のダイナミズムを生み出すためには、何が必要だとお考えですか。

斎藤 妙案があるわけではありませんが、着実にやっていくしかないと思っています。そのうえで、知ってもらう工夫は大前提であり、必要です。

ある団体では、会員減少への対応として、若い人たちをまずオープンな場に招くことをやっていた。会費は不要なので来てみないか、と講演会や交流会に招待する。そうすると、面白そうだと入会してくれる人が出てくる。

青年部会や女性部会だけでなく、親会にも「まずは一度のぞいてみようか」という入口があってもいいのではないでしょうか。

司会 「会員にならないと参加できない」というハードルを少し下げるといいですね。

大貫 おっしゃる通りだと思います。ただ、会員増強を意識しすぎると、どうしても思惑がみえてしまい、純粹にウエルカムな雰囲気を作りにくい面もあります。「試しに行ってみようかな」と思える仕組みができれば、法人会のイメージも変わってくるのではないかと思います。

司会 租税教室のような活動も、保護者の方や地域の方との新しい接点になるかもしれませんね。

大貫 そうですね。学校公開日などもあるので、そうした場で見ていただくことは十分考えられます。

租税教育については、長く使ってきた副教材の動画の内容が古くなってきたため、国税庁に協力をお願いいただき全法連で新しい動画を作りました。内容は大きく変えていませんが、現代の子どもたちに見やすい色使いや構成になっています。活動を停滞させず、ブラッシュアップしながら続けていることも見ていただきたいと思います。

また、離島や人手不足の地域では、リモートで租税教室を行う仕組みも実際に始まっています。コロナ禍の経験もあって、新しいやり方が広がってきています。

村上 あの動画は、私も何度も見えていますけれど、毎回自分も勉強になります。学校公開日に流せば、保護者の方にも伝わりやすいかもしれませんね。

司会 女性部会と青年部会の連携についてはいかがですか。

村上 うちが息子が青年部会長なので、かえって避けられている気もしますけど（笑）。青年部会の懇親会では食べ残しが多いかもしれ

ないので、これを機に食品ロスについて少し話してみます。

司会 食品ロスは、法人会全体でも取り組みそうですね。

村上 そうですね。食べ残しを減らすことでさまざまな費用が削減できて、税の有効活用にもつながります。しかも一人ひとりの心がけでできますからね。

司会 では最後に、お一人ずつ、法人会の未来への思いをお聞かせください。

大貫 これから入会を考える方は、まず「どんなメリットがあるのか」を見ていると思います。ですから、法人会がどんな良い活動をしている

るだけでなく、入ることでも何が得られるのかを正確に伝えることが大切です。

そのうえで、異業種交流会だけでなく、アクティブに活動に参加する会員を増やしていきたい。会員一人ひとりが情報をしっかりと理解し、自分の言葉で伝えられるようにしていくことを、これからも続けていきたいと思っています。

村上 ある程度の年齢になると、社会に奉仕することが、自分がこれまでいっていたきたものへの恩返しのように感じられるんです。でも、そうは思わない方も増えてきているようです。

ただ、懇親が目的でも、それはそれでいいと思うんです。その中で、大義はどこにあるのか、目標は何かというところを見失わずに、みんなが進んでいけたらいい。

そして何より、楽しくないと続かない。そこは私のポリシーです。楽しく続けながら、強い女性部会にしていきたいですね。

斎藤 租税教室や絵はがきコンクールなど、さまざまな活動がありますが、結局のところ、私たちの役割は、税の大切さを伝え、社会に提言していくことだと思っています。

昨年、東法連が実施しているキッ



ザニアのイベントを見に行ったのですが、小さな子どもたちが税について学び、家に持ち帰って考える。その姿を見て、これはとても大事な活動だと感じました。

法人会は税のオピニオンリーダーとして、会員数を増やし、力をつけ、その上で提言していく必要があります。正しく税金が使われる社会にしていくなにも、やはり会員増強は重要です。私ももちろんそうですが、事務局も含めて、しっかりと取り組んでいきたいと思っています。

*本県談は3月18日、全法連会館で実施されました。

札幌北 北海道

新会員の税務研修会と懇親交流会

札幌北法人会は2月26日、令和7年の新会員向け税務研修会を札幌サンプラザで開催、15名が出席した。はじめに札幌北税務署担当官が、会社取引をめぐる税務Q&Aや、「自主点検チェックシート」等を教材に、会計処理の留意点について講話。続いて加藤会長から、法人会の成り立ちや存在意義、公益社団法人としての取り組み等について説明があり、

当法人会のモットー「楽しくなければ法人会じゃない!」を掲げて、各種事業・行事へ参加し、その楽しさを実感してほしいと熱く語った。

また、福利厚生制度受託3社からは制度の概要と会員向け保険商品が紹介された。

続く懇親会「新会員交流2026」には、新会員の紹介者や役員らも加わり36名が参加。自己紹介と自社PRのあと名刺交換も行われ、和やかな雰囲気の中、成田副会長の中締めでお開きに。入会して間もない会員には法人会活動への理解を深める有意義な機会となった。

盛岡 岩手

絵はがきコンクール 過去最高575人が応募

2月4日、盛岡法人会女性部会主催の「税に関する絵はがきコンクール」表彰式が行われた。令和7年度は、管内の24小学校から575人の応募があり、前年比143人増という過去最高の応募者数で、コンクールと税への関心の高さがうかがえた。

表彰に先立ち池野部会長は、「税金が生活を守るために使われていることへの感謝や、皆の笑顔のために

使われてほしいという願いが感じられ、どの作品も未来をより良くしようという力強いエネルギーに溢れていました」と講評。

受賞者20人に賞状と記念品が授与され、盛岡市立仙北小学校6年の及川花穂さんが挨拶。「税によって勉強できる環境、安全に暮らせることに感謝し、助け合いながら日本全体が繋がってほしい」と作品への思いを語り、「少子化・高齢化が進むなか未来を支えるためにしっかりと勉強し、将来は納税して自分たちの責任を果たしたい」と述べ、大きな拍手が送られた。



前橋 群馬

『なないろのまち』

前橋法人会は3月25日、ローン・ユナイテッド・シネマ前橋で映画「なないろのまち」特別観賞会を開催、約200名が来場した。家族で楽しめる良質な映画を上映するという地域貢献活動事業の一環で今年は9回目。2011年の第1回上映「虹の街」の続編で、今回も藤橋誠監督が手掛け、地元前橋を舞台に撮影された作品だ。

当会広報担当副会長でもある深井



浩プロデューサーと監督、キャストの舞台挨拶に続いて上映開始。前作の主人公2人が赤城山で再会するシーンから始まり、市街地やお祭り・花火大会などが描かれ、映画のテーマである「やさしいまちとは、どんなまちですか?」というインタビュには市民それぞれが、前橋に對する思いを語っている。

上映後は主人公・奈緒役の木暮あかりさんの司会で、小川晶市長と深井プロデューサーの対談も行われた。

千葉南 千葉

いつでも!どこでも!

「スマホ申告」

千葉南法人会は、千葉南税務署管内団体長懇話会とともに「スマートフォンでの確定申告」を呼びかけるPR用マグネットシートを制作。管内の路線バスに掲示するための交付式を開催した。

確定申告会場へ行かずに24時間申告ができるという利便性の周知を目的に、小湊鐵道株式会社の協力によりバス290台の乗降口脇に装着する広告塔として申告期限までの約2か月、「スマホde確定申告」を呼びかけた。



東法連

「新宿シティハーフマラソン」で健康づくり

第23回新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソンが1月25日、新宿区霞ヶ丘のMUFJスタジアム(国立競技場)をメイン会場に開催された。東京法人会連合会は、2016年から大会プログラムに広告を掲載。法人会のPRを行っており、今回で10回目となる。

今年はハーフマラソンに横原専務理事と事務局職員が出席。競技場を



スタートし、外苑のいちょう並木から御苑トンネルを抜け、新宿駅東口、靖国通り、神楽坂など区内各地の魅力を体感するコースを、約6400人のランナーたちとともに力走した。冬晴れの日曜日、無事に完走を果たして健康づくりへの意識を新たにしていた。

西大寺 岡山

社会人の第一歩を応援!

西大寺法人会は4月7日、岡山商工会議所西大寺支所で公益セミナー



「新入社員・若手社員研修」を実施、20名が参加した。松尾奈々里氏を講師に、社会人としての心構えやビジネスマナー「報・連・相」の重要性、電話・来客対応、コンプライアンスの基礎など実務に直結する内容だ。講義後はグループワークや実践的なトレーニングも行われ、参加者同士が交流を深めながら主体的に学習。初めての演習に戸惑いながらも、一つひとつ真剣に取り組む様子が印象的で、「他社の方と交流しながら学べたことが大きな刺激になった」との声が寄せられ、新社会人の第一歩を踏み出す貴重な経験となっていた。

けんたの 全国法人会めぐり

GO AROUND JAPAN!

今回お邪魔する石川県の松任法人会は、なんと9年連続で会員数純増を達成しているらしい。ということで、会員増強策をしっかりと聞いて帰ろうと思っていたら……コビトがウロウロしている地域があるという情報が！ ウン、面白そうなので、まずはコビトを探して回ろうかな。



第19回
まっとう
松任法人会
石川県

日本三名山のひとつ白山

全域が白山手

取川ジオパークに認定されている白山市。まずは全国に約3千ある白山神社の総本宮である白山比咩神社へ。ケヤキやカエデに覆わ



県下有数のパワースポット「しらやまさん」

れた表参道や拝殿など、雨に煙る境内には、より荘厳な雰囲気が出ていましたよ。

すぐそばの鶴来地域は、「こびとづかん」の作者・なばたとした氏が初めてコビトを発見したという町。ボクも「こびとMAP」を片手に歩き回ったけど見つけれなかったの、町のアチコチにあったこびと行灯をパチリ。奈良時代から白山宮の御神酒を造っていたという老舗の酒蔵・菊姫にも立ち寄りしました。

せっかくのジオパークなので、手取峡谷にある落差32mの綿ヶ滝へ。滑らないように注意しながら滝壺までの急な階段を120段ほど下りると、ダイナミックな滝の迫力と峡谷の美しさを味わえますよ。水しぶきでビシヨ濡れになるけど。



展望台からは手取峡谷と滝の全景が一望できる



すべてのこびと行灯を制覇するのも一興

役員と事務局の連携がカギ

松任法人会の活動地域は「住みよさランキング」で毎年上位に入る、チョットのかだけど安心・快適に暮らせる白山市と野々市市。工業団地がたくさんできたけど、白山を源流とする手取川に沿った地域は昔から農業が盛ん。水がおいしい↓米がおいしい↓酒がおいしいので酒蔵が多いんだ」と、レインウエアーメーカーで専務を務める小柳会長。



石川税務連絡協議会の会長を務める小柳会長

小柳会長によると「未加入企業には役員が積極的に声掛けをして、1人1社を目標に会員増強に取り組んでいる」そうですよ。「クロージングは事務局の出番。行けば話を聞いてもらえて、高確率で加入いただけます。声を掛けてもらえることがありがたいですね」と高井局長。

今回のお土産は、職場用に越原甘清堂の「こびとどら焼き」、自宅での晩酌用として吉田酒造店の「手取川純米大吟醸」と菊姫の「菊姫吟醸」を買いました。



手取川は600本の石川原産、菊姫は北陸限定販売でした！

松任で 観る 食べる 遊ぶ

観る 「鳥越城跡」

加賀一向一揆の最後の砦

織田信長の加賀侵攻に備えて築かれた山城で、約1000年続いた「百姓の持ちたる国」終焉の舞台。近くにある鳥越一向一揆歴史館で事前学習してから向かえば、より歴史ロマンを感じられますよ。



昭和から平成にかけて発掘調査と整備が進められた



食べる 「カレーのチャンピオン」

金沢カレーの発祥店

ステンレス皿に盛り付けられた濃厚なルー、添えられた千切りキャベツにソースがかかったカツ。金沢カレーのレシピとスタイルを作った名店「チャンカレ」では、カレーをフオークでいただきます。



名物の「カツカレー」1100円

公益社団法人 松任法人会



石川県白山市西新町159-2

松任産業会館4F

TEL: 076-274-3157

<https://matto.ishikawa-kenhouren.or.jp/>

活動地域 松任税務署管内
(白山市、野々市市)

会員数 1,564社

会長 小柳 晶裕
(株式会社コヤナギ 代表取締役専務)

トリビア 935年に石同・四郎丸・三丁町の3集落の合併を国司・松木氏が提案。新しい町の名前は松木氏に一任されたため、「松木に任せる」で町名が「松任」となった。本来の読みは「まつとう」だったが、読みやすいように変化して現在では「まっとう」が正式な読みとなった。



左から観谷さん、高井事務局長、窪田さん

令和7年度 財務大臣 官納税表彰式



従来の取り組みに加えて、キャッシュレス納付の普及と利用促進に向けた積極的な周知・広報活動が評価されて、北陸初となる長官感謝状が授与されました。表彰式に出席した小柳会長が国税庁長官納税表彰を受彰したため、ダブルでの栄誉となりました。



松任法人会の税に関する広報活動 松任法人会に国税庁長官感謝状



松任法人会の青年部会活動

子どもたちが楽しく 学べる租税教室

けんたなどの紙人形や寸劇を取り入れ、ゆるキャラも登場する租税教室。楽しませるには多少のムチャ振りもありで、担任の先生が即興で店員になり寸劇に参加すること。



松任法人会の女性部会活動

やってみました！ フードドライブ

食品ロス削減の一環でフードドライブに初挑戦。会員だけでなくチラシを見た市民からも提供いただいた米やレトルト食品は、社会福祉協議会に寄付させていただきました。



地元木材を使用した風情ある建物

美人を生む絹肌の湯
霊峰白山の麓に位置する日帰り入浴施設。天然温泉100%の源泉は全国でも希少な「純重曹泉」で湯上がりの肌は絹のようにスベスベに。周囲の山々や手取川を眺めながらゆったりできる露天風呂も最高です。

遊ぶ
「白峰温泉総湯」
Shiramine Spa



R157沿い、「吉野工芸の里」入口に佇む人気店

行列ができる大判焼き屋
茅葺屋根のお店は平日も行列が絶えません。TVでも紹介される人気のワケは、甘さ控えめで通常の2〜3倍入ったポリウレームたつぷりの餡。月替わりで、さくら・ほうじ茶・ずんだ・くりなどの限定餡も楽しめます。

食べる
「山法師」
Yamaboushi



◆さいたま市で 全国女性フォーラム

4月16日、さいたま市のソニックシティ大ホールにて法人会全国女性フォーラム埼玉大会が開催された。

大会キャッチフレーズは「彩の国（さいのくに）から輝く未来へ」女性が創る新時代」で、国税庁徴収部長らの来賓および全国の女性部会員約1700名が参加した。

大会は、ふじみ野市の女子小中高生ダンスチーム「VIOLET」による華やかなオープニングアトラクションでスタート。第1部の「笑顔のもとに笑顔が集まる」と題した記



主催者を代表してあいさつする村上全法連女連協会長

念講演では、落語家の林家たい平氏が会場を笑いの渦に巻き込み、一般公開により聴講した約50名の市民も大いに楽しんだ様子だった。

第2部の式典に先立ち、令和7年度の絵はがきコンクール全法連女連協会長賞受賞12作品がスクリーンで紹介されると、子どもたちの発想力と表現力に歓声と拍手が沸き起こった。

式典は埼玉県連女連協・宇野三花会長の歓迎のあいさつで始まり、全法連女連協 村上康恵会長と全法連・斎藤保会長が主催者を代表してあいさつ、来賓から祝辞をいただいた後、埼玉県内の女性部会による租税教育や社会貢献活動の様子が映像で紹介された。続いて全法連女連協・林きみ代副会長により大会宣言が読み上げられ、大会旗が次回開催地である長崎県連女連協・池田久美子会長に伝達された。

また、同日午前に開催した情報交換会には各県連代表者など92名が出席し、地域の特性に応じた食品ロス削減の取り組みを推進するため、開催地さいたま市の「食品ロス削減プロジェクト」や、事業者・市民・自治体の連携による食品ロス削減に関するセミナーを聴講した。

なお、次回の女性フォーラムは、令和9年4月15日に長崎県長崎市の出島メッセ長崎にて開催される予定。

◆10月に茨城県で全国大会

全法連は10月8日に法人会全国大会を開催する。この大会は全法連で策定した「税制改正に関する提言」の内容周知などを目的として毎年開催しており、42回目となる今回は、茨城県水戸市の水戸市民会館グロービスホールを会場に、来賓および全国の会員約1600名が参加する予定。

なお、式典に先立って行われる、東京大学大学院の西成活裕教授による記念講演は、一般公開により市民等の聴講も受け入れる予定。

茨城県には次のような名所名物がある。ので、堪能していただきたい。

- ▼「袋田の滝」別名は「四度の滝」
- ▼「五浦海岸」岡倉天心ゆかりの地
- ▼「花貫溪谷」紅葉の名所
- ▼「笠間稻荷神社」日本三大稻荷
- ▼「牛久大仏」ギネスにも登録
- ▼「西山御殿」光圀公が愛した庭
- ▼「竜神大吊橋」スリル満点
- ▼「ひたち海浜公園」コキアが見頃
- ▼「つむぎの館」結城紬の織り体験
- ▼「水戸芸術館」現代アートの拠点
- ▼「常陸牛」肉質最高級の黒毛和牛
- ▼「奥久慈しゃも」歯ごたえしっかり
- ▼「つけけんちん」そばを浸して食す
- ▼「納豆かつ」異色の組み合わせ
- ▼「しらす」イチオシは生しらす丼

◆令和8年度に従業員採用を 計画する企業は7割弱

全法連は法人会アンケート調査システムを利用して「従業員の採用等に関するアンケート」を3月に実施し、1846名から回答を得た。

今年度採用を計画する企業は約66%であったが、その主な目的は、従業員規模によって定期採用・人手不足解消に分かれた。また、中小規模の企業では、即戦力となりうる中途の正社員を求める傾向が顕著であった。

採用のポイントとして、高水準な賃金体系や働きやすい柔軟な勤務形態、快適な職場環境が挙げられ、賃金に加えて労働条件の質的改善にも取り組む姿勢がうかがえた。

政府で議論が始まった「労働時間規制の緩和」については86%が賛成したが、「ライフスタイルに合わせた柔軟な働き方が可能」や「希望すれば労働時間を増やして給与の増加を図れる」といった従業員の立場に立った理由が多かった。

これまでの調査結果については、以下の二次元コードから詳細が確認できる。また、アンケート調査システムへの新規登録も可能なので、ぜひ積極的に登録して皆さまの声をお聞かせいただきたい。



なぜ「プライマリーバランス黒字化」が必要か

高市政権下で財政目標の見直し

が検討されています。これまでわが国には、「国・地方の基礎的財政収支（プライマリーバランス、以下PB）の黒字化」と「債務残高GDP（国内総生産）比の安定的な低下」という2本立ての財政目標がありました。前者は毎年のフローの財政を、後者はストックの財政を規律するものです。この「単年度のPB黒字化目標」を撤回し、「債務残高対GDP比の安定的な低下」に一本化するとともに、PBについては「数年単位でバランスを確認する」と転換する方向で議論が進んでいます。

行われています。

筆者はこの見直しについて2つの大きな問題があると考えています。少し難しい話ですが、お付き合いください。

第1は、 g が r より上回るという前提が現実にとこまで続くのかという点です。 g と r の関係を論じたのは米国の経済学者ドーマーで、以下のように述べています。「 g と r が同水準であれば、PBがバランスした状況では債務残高GDP比は一定になる（低下しない）。一方 g が r を下回る状況では、PBはバランスしていても債務残高GDP比は増加し財政リスクが拡大する。逆に g が r を上回る状況が続けばPBがある程度赤字であっても債務残高GDP比は一定値に収束し、財政の持続可能性は維持できる」。これがドーマー定理と呼ばれるものです。一般的に言えば、経済成長が続き税収が増えてもそれにつれて金利が上昇すれば、大量の国債残高を抱えるわが国では利払いが増え財政は悪化する可能性がある

ということですが。

先進諸国の事例を長期にわたり観察すると、 g と r の関係は多様で、ここ26年（1992年～2017年）のG7諸国の推移を見ると、 g が r を下回った例が61%、わが国では77%と多数になっています。

現在わが国ではインフレが進行する中、日銀による金利の正常化が進んでいます。一方で30年間赤字を積み上げる財政政策を行ってきたにもかかわらず成長できなかったという事実があり、積極財政にすれば潜在成長率が高まり経済が成長するという主張には首をかしげざるを得ません。

そこで r と g は同水準で推移すると考え、地道に毎年PB黒字を続ける目標の下で債務残高GDP比を引き下げていく財政政策をとることが必要ではないでしょうか。

2番目の問題は、PB単年度黒字化目標がなくなれば、毎年の予算編成の拠り所（アンカー）が失われ、財政規律が緩んでしまうということです。

社会保障関係費は高齢化の進展

や医療の高度化などで増加せざるを得ませんが、野放図な膨張は避けなければなりません。予算の現場では、厚労省や自民党の部会、医師会など利益団体と財務省の折衝を踏まえ官邸の判断で薬価や診療報酬が決まりますが、この際の歯止めは財政目標からくる規律です。これがなくなれば膨張圧力に屈してしまいます。

PBについて、単年度でなく数年単位でバランスをとるという議論も進んでいます。これは赤字解消の先送りになりかねません。

高市首相の掲げる「責任ある積極財政政策」ですが、責任あるかどうかを判断するのは一義的には市場（マーケット）としても、最終的には国民です。さらなる円安が進みインフレとなれば、財政破綻に至らずとも実質賃金はマイナスになり、また国債金利の上昇は住宅ローン金利や中小企業の借入金の上昇につながり、国民生活に大きな影響が及びます。安易な財政目標の変更は慎重であるべきだと考えます。

財務省が私立大の4割減提案 具体的な基準づくりが焦点へ

財務省が、私立大学に関して2040年までに少なくとも250校程度を減らす必要があるとの考えを示した。経営悪化が拡大しており、質の確保のためにも18歳人口の減少に応じた絞り込みが不可欠というのが理由だ。文部科学省も同調の姿勢だが、地域などへの影響が小さくないため具体的な基準づくりが今後の焦点となる。

財務省が私立大学の縮減目標について、数字を掲げたのは初めてだ。具体的には、2024年時点で624校だった私立大学を2040年に217〜372校にすべきとしている。

これを実現するには、少なくとも40・4%にあたる252校を減らさなければならぬ。財務省の推計では年間16校、学部定員は8700人程度の縮減が必要で、私立大学経営者に波紋が広がっている。

財務省が縮減を求める背景には、半数を超える私立大学で入学者が入学定員を下回り、経営悪化の傾向が強まっていることがある。日本私立学校振興・共済事業団によれば、2024年度は私立大学や短大を運営する662の学校法人のうち、3割超の207法人が債務超過などで経営困難な状況に陥った。26法人は「自力再生が極めて困難」と判定された。

進学率上昇も 進学者数は減へ

私立大学を乱立させてきたことが経営悪化に拍車をかけている。18歳人口は1992年度にピークを迎えたが、文科省は大学数や収容定員数の増加を容認してきた。この結果、

学校基本統計によれば2025年度の大学数は812校に膨らみ、私立大学が624校を占める。

それでも多くの学校法人の経営が成り立ってきたのは、進学率が上昇したためだ。2025年度の18歳人口は1992年度と比べて半減したが、文科省の国公私立大学入学者選抜実施状況によれば入学者（進学者）数は54万人から65万人にむしろ増えた。

しかしながら、出生数の減少ペースが加速し、2026年以降は大学進学率が上昇したとしても進学者数は減り続けると見込まれている。このため、財務省は「経営体力がある段階での撤退等を促すべき」と述べている。

研究・教育の質を保つことも私立大学の縮減を求める理由だ。財務省は「定員割れ私立大学の中には、義務・中等教育で学ぶような内容の授業が行われている大学も見受けられる」と指摘している。

財務省の提案に対し、文科省も「経営体力がある段階での撤退の態勢も含め、高等教育の規模の適正化を進めることが必要」との立場で方向性に大差はない。ただ、同省は定員割れの事実のみで機械的な判断を下さないよう釘も刺しており、今後の焦点は基準づくりに移る。

産業構造の変化に対応した理工系・デジタル人材や、医療・福祉など社会インフラを支える人材の育成を重視しており、こうした分野の大学は残したい意向だ。

必要な分野や 地域で選別か

文科省は地域バランスの必要性も認識している。地域で活躍する人材を育成する大学がなくなれば、地元企業や地域経済への影響は避けられないためだ。地元の進学先がなくなり若者の流出が加速することへの地元の警戒感が強いこともある。

このため、学長や知事、地域の企業などで構成する「地域連携プラットフォーム」を地域ごとに立ち上げ、医療・福祉、産業、社会インフラの担い手といった地域の人材需要を踏まえた育成を担う大学や、産学融合の共同研究・共同教育を実現している大学などを重点支援する。一方、経営指導をしても改善が見られない大学は、学部改組の条件を厳格化するなど縮小や撤退を促していく。

財務省の提言通りに運ぶかどうかは別として、少子化は進んでおりサバイバル戦の激化は必至だ。各大学は、社会ニーズに合った人材を育成する力が問われることとなる。◎



たばこ類似品は本当に「安全」なのか

近年、電子たばこ、加熱式たばこ、ニコチンパウチなど、紙巻きたばこ以外のニコチン製品が普及しています。煙やにおいが少ないため「普通のたばこより体に悪くなさそう」と思われがちですが、公的機関は「安全なたばこ製品はない」と明言しており、いずれも健康への懸念があります。それぞれの特徴と知っておくべきリスクを整理します。

▶ 電子たばこは「水蒸気」ではない

液体を加熱して発生したエアロゾルを吸い込む電子たばこは、「ただの水蒸気」と誤解されがちですが、WHOはその見方を否定しています。実際にはニコチンのほか、健康に悪影響を及ぼす化学物質や微小粒子を含んでいます。CDC（米国疾病予防管理センター）も、電子たばこによるニコチン依存や健康被害を示しています。

特に注意したいのは、若い世代と妊婦です。ニコチンには強い依存性があり、若年者では脳の発達に悪影響を及ぼす可能性があります。CDCは、思春期から若年成人期にかけてのニコチン曝露が、注意力や学習、気分、衝動のコントロールなどに関わる脳機能に影響するとしています。妊娠中のニコチン曝露も胎児へのリスクを警告しています。「紙たばこよりも軽そうだから」という感覚で始めるべきものではありません。

▶ 加熱式たばこも無害ではない

タバコ葉を燃やさずに加熱して吸う加熱式たばこは「クリーン」に見えますが、厚生労働省は、そのエアロゾルにもさまざまな有害化学物質が含まれるとしています。比較的新しい製品群のため、長期的な健康影響については、まだ十分にわかっていないのが実情です。日本呼吸器学会も、健康リスクが低いと断定できる証拠はないとして、使用を推奨していません。

▶ ニコチンパウチも「煙が出ないから安心」ではない

歯ぐきと唇の間にに入れて使うニコチンパウチは、煙が出ないため手軽に感じられるかもしれませんが、これにも依存性の高いニコチンが含まれます。若い人や妊婦、非喫煙者が新たに始めることは勧められませんが、小さな子どもの誤飲にも注意が必要です。

▶ 周囲の人への影響もゼロではない

電子たばこや加熱式たばこは、紙巻きたばこより煙やにおいも弱いですが、「周りには影響しない」と思いがちですが、ニコチンやその

他の物質に周囲の人がさらされる可能性があります。量や成分は紙巻きたばこ以下だとしても、「受動曝露は問題ない」とは言えません。家庭や車内、子どもや妊婦がいる環境では特に注意が必要です。

▶ 目指すべきは「替える」ではなく「やめる」

現在、紙巻きたばこを吸っている人の中には、「電子たばこや加熱式たばこに替えればよい」と考える人もいます。たしかに、非燃焼製品に切り替えた場合、一部の有害物質への曝露が減る可能性はありますが、これはあくまで「相対的に少ないかもしれない」という話です。併用してしまえばその利点は小さくなりますし、健康リスクが消えるわけでもありません。特に若い人、妊婦、非喫煙者が手を出すべきではありません。

望ましいのは、製品を乗り換えることなく、「ニコチンから完全に離れること」です。そして、禁煙は自己判断より、禁煙外来など医療機関で相談するほうが現実的です。

製品	主な成分・特徴	主なリスク
紙巻きたばこ (タバコ葉を燃焼)	ニコチン、一酸化炭素、有害化学物質	心血管疾患、脳卒中
電子たばこ (液体を加熱しエアロゾル吸引)	ニコチン、発がん関連化学物質、重金属、微小粒子、揮発性有機化合物	依存、脳発達影響、胎児リスク
加熱式たばこ (タバコ葉を加熱)	ニコチン、有害化学物質	長期影響不明、二次曝露
無煙たばこ (口腔・鼻で使用)	ニコチン、たばこ特異的ニトロソアミンなどの発がん関連物質	依存、口腔・食道・肺臓がん、白板症、歯周病、虫歯、歯の喪失、胎児の早産・死産、心疾患・脳卒中
ニコチンパウチ (歯ぐきと唇で使用)	ニコチン、有害化学物質	依存、胎児リスク、若年者の脳発達リスク

本記事には開示すべき利益相反関連事項はありません
Lumediaでは専門家による正しい医療情報を発信しています

quoted from Lumedia



老舗の肖像

file
065

株式会社 山内本店
創業 宝暦元年 — Since 1751
熊本・菊池法人会



山内本店は肥後藩主・加藤清正が築いた城下町・新町で「梅屋」として歴史を刻んできた。古い資料は火災で焼失したが、現存記録で宝暦元年（1751）の営業が確認されている。明治期から山内を名乗り、商標は「マルヤマ」を掲げた。その後、昭和初期の金融恐慌や戦禍、大水害を乗り越え、目に見えない資産である微生物の営みと職人の矜持を守り抜いてきた。その確かな品質で、昭和6年に昭和天皇へ醤油を献上している。

山内本店のもののづくりの中核は、蔵に棲みつく麹菌や酵母による発酵にある。職人たちが代々整えてきた最適な環境と、西日本の味噌・醤油分野で唯一「現代の名工」に選ばれた永田富浩技術顧問の指導で、その卓越した技は次代へと確実に継承されている。こうした個の技術と組織の品質管理の融合は、全国の味噌鑑評会や醤油品評会で第1位11回、第2位23回という圧倒的な実績にも表れている。

二百七十余年の麴が紡ぐ、伝統産業の未来

代表取締役社長 山内 卓

また、全国主要百貨店で広く取り扱われるなど、強固なブランドポジションを確立している。

昭和45年、同社は味噌・醤油の命とも言える「水」を求め、阿蘇外輪山の伏流水が豊かな菊陽町へ製造拠点を移転。地下90メートルから汲み上げる清冽な水が味の基盤を支えている。さらに、休耕地への湛水を通じた地下水涵養活動にも従事。熊本の貴重な水資源を守る一翼を担っているのだ。

掲げる理念は「感動」の創出だ。商品やサービスで顧客の期待を超える価値を届けるべく、令和6年には初の物販・飲食店舗「日々麴舎」を、翌年には登録有形文化財に指定された由緒ある建築をリノベーションし「日々麴舎本店」をオープン。歴史という重厚な礎の上に、現代のニーズに即した麴文化を再定義し、麴の魅力を日本から世界へと発信している。長い歴史に培われた技と挑戦が、日本の伝統産業の新たな価値を生み出している。

Company Profile

株式会社山内本店 本社所在地・熊本県菊池郡菊陽町原水5548 096-232-3300
業種・味噌・醤油製造および販売 従業員数・68名 <https://yamauchihonten.com/>

文政12年(1829)、足袋商の野崎武左衛門が、備前児島で塩田事業として創業したことがナйкаイ塩業の始まりだ。降水量が少なく、遠浅の海が広がる瀬戸内海沿岸は潮の干満差が大きく製塩の適地で、この地域特性を背景に野崎家は入浜式塩田の開発を推進した。天保2年(1831)に味野浜・赤崎浜を合わせた元野崎浜塩田を、天保12年に現在の製塩工場へつながら山田沖に東野崎浜塩田を築造。明治27年には耕作地488町歩(東京ドーム103個分)、塩田181町4反余を所有し、明治32年に台湾へ進出。明治38年の塩専売法施行後には全国塩田同盟会本部も置かれ、日本塩業の発展を牽引した。昭和40年代、製塩業は塩田から工場製塩へと劇的な転換を迎える。この変化に対応し、昭和44年にイオン交換膜で海中の塩分を濃縮、真空蒸発缶で結晶化させる技術を導入。高純度塩の安定大量生産を可能にし、本社工場を玉野市

瀬戸内海に宿る、二百年の革新

代表取締役社長 野崎 哲太郎

胸上へ移転した。

現在、製造される高純度塩は食品用途のみならず、人工透析等の医療分野や化学工業など、社会を支える基礎素材として不可欠な役割を担う。大手食品メーカーへの原料供給を行うかたわら、近年は地域ブランド「たまのそと」の展開や「瀬戸内国際芸術祭」でのソルトアート展示を通じた地域・文化発信にも注力している。

特筆すべきは、同社の経営に通底する「共生」の精神だ。塩田から工場への転換期には関連会社を活用した雇用維持に尽力。創業家に伝わる「無駄には使わず、公共には惜しむな」を掲げ、真摯な地域貢献を継続した。令和6年には創業195年と会社設立90周年を記念した寄付により紺綬褒章を受章。約200年にわたり製法や事業構造をアップデートさせながら、社会の基盤を支え続ける。その歩みは、伝統と革新を両立させる持続可能な経営そのものだ。

① 玉野市後開沖の海水を原料とした「たまのそと」(中央)と、ナйкаイ塩業が製造を担う「瀬戸のはんじお」(瀬戸のはんじお焼き塩「アジシオ」) ② 瀬戸内海を望む本社工場 ③ 巨大な真空蒸発缶群。イオン交換膜で濃縮した塩水を結晶化し高純度塩へと仕上げる ④ 8世代目、野崎哲太郎社長 ⑤ 人力で行われていた入浜式塩田での製塩作業



Portrait of the
LONG ESTABLISHED
COMPANY

file:
066

ナйкаイ塩業株式会社 岡山・児島法人会
創業 文政十二年 — Since 1829

Naikai Salt Industries Co., Ltd.

Company Profile

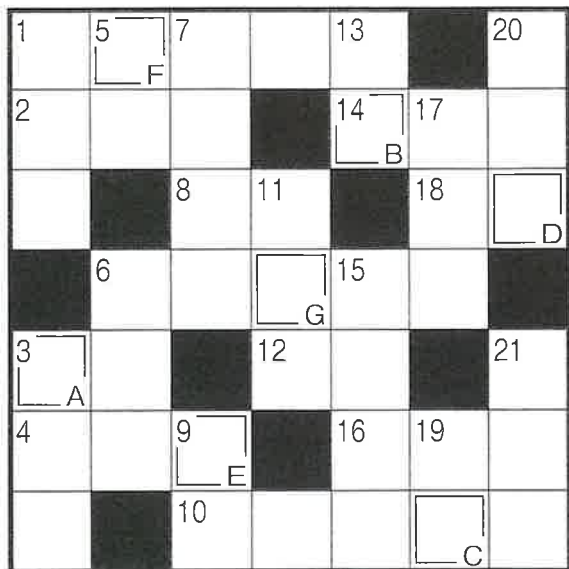
ナйкаイ塩業株式会社 本社所在地・岡山県倉敷市児島味野1-11-19 086-472-2002
業種・塩・化成品の製造販売、不動産管理 従業員数・142名 <https://www.naikai.co.jp/>

クロスワードパズル

crossword puzzle

ヒントを元に言葉をマス目に記入したあと、Aから順につなげて読むと、答えがでできます。
答えはこのページの下にあります。

マス目に入るヒントの言葉は、右の二次元コードでご覧になれます。



ヨコのカギ

- 1 ビーチにて目隠しで挑む夏の遊び
- 2 讃岐や稲庭が有名
- 3 近年価格が急上昇した日本の主食
- 4 多くの戦国武将が統一を目指した
- 6 所得税法により、個人事業をスタートして1か月以内に税務署に____届を提出することが義務付けられている
- 8 お金のこと。あぶく____
- 10 夏にうれしい、固体の浮いたお冷や
- 12 ____主義者は、自分に都合のいいことばかり主張する
- 14 晴れてはいないが降ってもいい
- 16 お湯を沸かしたり麦茶を作ったりするときに使う道具
- 18 「しおり」が仕事をする場所

タテのカギ

- 1 一や二や千は漢____、1や2や3はアラビア____
- 3 土地や家屋の所有者には____資産税が課せられる
- 5 水を得るために地面を掘って作る
- 6 これをかぶって顔を隠す
- 7 輸入する物品に課される
- 9 未来の反対
- 11 グリップとも呼ばれる部分
- 13 地球の表面の約3割
- 15 「____を入れる」とは、第三者が脇から口出しすること
- 17 他のものをまねること
- 19 理容室や美容室で切ってもら
- 20 カaramelソースがかかっていたりする洋菓子
- 21 近視の矯正には凹、拡大鏡には凸

ほうじん 夏号 2026 No.733

- 1 エール
- 2 私の経営哲学
木内酒造 株式会社
代表取締役社長 木内 敏之
常陸の風土から
世界基準の価値を生む
- 5 全法連ひろば
- 6 特集
会長×青連協会長×女連協会長
トップ鼎談
- 10 リレーニュース
- 12 けんたの全国法人会めぐり
- 14 全法連ひろば
- 15 税論
- 16 情報分析の目
- 17 Doctor's EYE
- 18 老舗の肖像
株式会社 山内本店
ナйка塩業 株式会社
- 20 ▶クロスワードパズル
▶7つの間違い

▶ ご意見・ご要望・ご感想は
〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町5-6
公益財団法人 全国法人会総連合「ほうじん」係へ



7つの間違い

2枚の絵には7か所の間違いがあります。
さあ、見つけてみましょう。答えはこのページの下にあります。

クルビズが始まった。何着かのジャケットは会社のロッカーに入れて普段はノーネクタイ。軽装で通勤もラクだ。でも、5月半ばなのに東京は最高気温が30度に、九州や東北では35度を越えた地域も。最高気温35度以上の日を猛暑日と言うが、最近では40度以上の日を酷暑日と言うようになった。近年の厳しい暑さを受けて、気象庁が4月に新しく追加した用語で、アンケートによって13の候補から選ばれたらしい。自由記述には「サウナ日」というのがあったと聞いて、40度でサウナかあ……などと考えて笑ってしまった。とにかく、今年の夏も暑さが厳しそうなので夏バテなどしないように、しっかりと体調管理しないといけない。

(澤田彰二)

【編集後記】



法人会福利厚生制度のメリット

アフラックのがん保険・医療保険等にご契約の方(*)は、

**保険料が割安な集団扱いへ
変更ができます!**

- 1 | 簡単な手続き**で変更ができます。
- 2 | 担当代理店の変更**はありません。
- 3 | 保障内容の変更**はありません。

*ご契約の保険種類は、がん保険、医療保険、休職保険、しっかり頼れる介護保険、GIFT、定期保険が対象です。

今すぐ、お問い合わせください!

Aflac アフラック

〒163-0456 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル

法人会用フリーダイヤル

0120-876-505

シンカする 大同生命。

大同生命は今や“万一のとき”の
生命保険ではありません。
これまでの保険を深化させて、病気・ケガによる
離職・リタイアリスクなど、企業経営者が
働けなくなったときまでサポートする
「トータルな保障」を提供。
さらに、生命保険の枠にとらわれない新化で、
医療用ロボットによる難病治療のための保障や
中小企業の「健康経営[®]」などを総合的に支援。
生命保険を深く、新しく、シンカさせることで、
大同生命の真価を発揮していきます。
すべては、中小企業のみなさまのために。

トータルな
企業保障

HAL
プラス特約

経営者個人
の保障

中小企業向け
サービス

※正式名称：無配当ロボットスーツ歩行運動処置給付特約【特定難病用・保険料不要型】

業務部 / 東京都中央区日本橋 2-7-1 TEL (03)3272-6777

DJIDO 大同生命保険株式会社